

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026 年 1 月 5 日作成 第 1.0 版

研究課題名	関節リウマチ患者に対する人工股関節全置換術の中長期成績に関する観察研究
研究の対象	本研究は、1988 年 10 月から 2020 年 12 月までの間に、横浜市立大学附属病院において人工股関節全置換術を受けられた患者さんを対象としています。 対象となるのは、関節リウマチまたは変形性股関節症に対して人工股関節全置換術を受け、手術後 5 年以上の経過が確認できる患者さんです。
研究の目的	関節リウマチの患者さんでは、股関節障害が進行し、人工股関節の手術が必要となることがありますが、関節リウマチの患者さんは変形性股関節症の患者さんと比べて、手術後の経過や合併症が多い可能性が指摘されています。本研究では、関節リウマチの患者さんが受けた人工股関節手術の中長期成績を、変形性股関節症の患者さんと比較することで、今後の治療や手術後のフォローアップおよび手術時の詳細な合併症の説明に役立てることを目的としています。
研究の方法	本研究は、過去の診療録に記載された情報を用いて行う観察研究です。新たな検査や治療を行うことはありません。診療録から年齢や性別などの基本情報・手術内容・術後の経過・人工股関節の再手術の有無・合併症の有無・外来通院時の股関節機能評価などの情報を収集し、人工股関節の中長期的な経過を解析します。
研究期間	西暦 2026 年 2 月 24 日（研究機関の長の許可日） ～西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2026 年 2 月 24 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報 の項目	本研究では血液や組織などの試料は使用しません。 診療録から以下の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none">・ 年齢、性別、身長、体重、既往歴・ 手術内容および手術時期・ 術後の経過、合併症の有無・ 人工股関節の再手術の有無・ 股関節の機能評価結果 など
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	<p>情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。</p>
試料・情報の管理について責任を有する者	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：横浜市立大学附属病院 整形外科 崔 賢民</p>
利益相反	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。</p> <p>本研究は、診療録のみの観察研究のため必要な金銭は発生しませんが、もし必要となった場合は研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究における手術成績について、開示すべき利益相反はありません。</p>
研究組織（利用する者の範囲）	<p>【研究機関と研究責任者】</p> <p>横浜市立大学附属病院 整形外科 崔 賢民</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）崔 賢民</p> <p>（問い合わせ担当者）稗田 裕太</p> <p>電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2866</p>	